



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場会社名 三井製糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2109 URL <https://www.mitsui-sugar.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 雑賀 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 馬鳥 秀彰 TEL 03(3663)3111
 グループ戦略企画部長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	26,528	△7.9	1,088	△22.2	991	△49.0	405	△68.3
2020年3月期第1四半期	28,795	7.9	1,398	23.3	1,945	△35.4	1,276	△33.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 172百万円 (△88.6%) 2020年3月期第1四半期 1,504百万円 (△25.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	15.77	—
2020年3月期第1四半期	48.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	137,016	91,811	60.0	3,199.60
2020年3月期	141,705	92,395	58.4	3,218.77

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 82,234百万円 2020年3月期 82,727百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	1.0	4,800	△1.0	4,800	△3.7	2,400	△0.9	93.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

（注）詳細は、【添付資料】8ページ「2.（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項 会計方針の変更」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	28,333,480株	2020年3月期	28,333,480株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,631,954株	2020年3月期	2,631,827株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	25,701,616株	2020年3月期1Q	26,536,870株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきまして、当社グループは、各社間の連携を推進し、引き続き既存事業の基盤強化と成長領域の事業拡大に取り組んでまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響により世界的に経済活動が停滞し、グループ各社の販売に悪影響があった他、一過性の要因として、前期に発生した事故の影響を受けた連結子会社 北海道糖業(株)の原価率悪化や、干ばつによるサトウキビの不作に起因したタイ国関連会社(持分法適用)の損益悪化等もあり、前年同期比で減収減益となりました。

(砂糖事業)

海外粗糖相場につきましては、期初は10セント前半でスタートした後、新型コロナウイルス感染拡大に伴う需要減少を背景に下落基調が鮮明になりました。4月後半には約13年ぶりの安値となる9セント台まで急落したものの、その反動から再び10セント台に回復しました。その後、5月半ばから、世界経済回復に向けた希望的観測に伴う投機資金の流入により相場は徐々に上昇基調に転じ、11セント後半で当第1四半期末を迎えました。

販売面では、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛により、土産物や外食向けといった業務用需要が大きく落ち込んだため、前年同期を大幅に下回る販売量となりました。国内全域における緊急事態宣言が5月末に解除されて以降、販売量は徐々に盛り返しを見せているものの、回復するまでには至っておりません。コスト面では、販売量減少に伴う生産調整の実施や、安定操業のための設備更新による減価償却費の増加等があり減収減益となりました。

連結子会社では、生和糖業(株)は、順調にサトウキビが生育したことから生産量が増加し増収増益となりました。一方、北海道糖業(株)の業績不振に加え、SIS' 88 Pte Ltdは新型コロナウイルス感染拡大の影響により減収減益となりました。

以上の結果、砂糖事業全体で、売上高21,105百万円、営業利益575百万円となりました。

期中の砂糖市況

国内市中相場(日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり)

期を通じて187円～188円で推移

海外粗糖相場(ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり)

始値 10.39セント 高値 12.27セント 安値 9.05セント 終値 11.84セント

(フードサイエンス事業)

フードサイエンス事業につきましては、国内では新型コロナウイルス感染拡大の影響があったものの、パラチノースの海外向け販売量の持ち直しや、さとうきび抽出物の除菌用途への採用増加等により増収増益となりました。

連結子会社では、(株)タイショーテクノスは、乳酸菌や食用色素等の食品素材の販売量増加や新工場の稼働で原価率が改善したことにより増収増益となりました。ニュートリー(株)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、セミナーや新製品サンプリング等の積極的な営業活動を自粛せざるを得ず減収となりましたが、営業経費の減少もあり増益となりました。

以上の結果、フードサイエンス事業全体で、売上高4,926百万円、営業利益281百万円となりました。

(不動産事業)

不動産事業につきましては、前年同期並みの売上高を計上いたしましたが、施設の老朽化に伴う修繕工事の実施等により減益となり、売上高496百万円、営業利益231百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は26,528百万円(前年同期比7.9%減)、営業利益は1,088百万円(前年同期比22.2%減)となりました。

営業外損益においては、フィンゴリモド「F T Y 720」の開発権及び販売権の許諾に基づく受取ロイヤリティを164百万円計上いたしました。なお、当社の共同特許権者である田辺三菱製薬(株)とNovartis Pharma AG(以下「ノバルティス社」という)との間で仲裁手続きが進行中であることを受け、ノバルティス社が契約の有効性に関し疑義を提起している部分につきましては、引き続き収益としては認識しておりません。また、持分法による投資損失の計上等があり、経常利益991百万円(前年同期比49.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益405百万円(前年同期比68.3%減)となりました。

なお、2020年3月25日に公表いたしました大日本明治製糖(株)との経営統合及び日本甜菜製糖(株)との資本業務提携につきましては、3社間の協議を継続しております。

(2) 財政状態に関する説明

〔連結財政状態の変動状況〕

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比4,688百万円減少し137,016百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比4,123百万円減少し53,033百万円となりました。これは主として、現金及び預金の減少530百万円、商品及び製品の減少3,686百万円等があったことによるものであります。

②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比565百万円減少し83,983百万円となりました。これは主として、リース資産の増加472百万円、建設仮勘定の増加262百万円等があった一方で、機械装置及び運搬具の減少703百万円、投資有価証券の減少514百万円等があったことによるものであります。

③負債

負債は、前連結会計年度末比4,104百万円減少し45,204百万円となりました。これは主として、借入金の減少2,310百万円、未払法人税等の減少1,560百万円等があったことによるものであります。

④純資産

純資産は、前連結会計年度末比584百万円減少し91,811百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益405百万円、剰余金の配当642百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、国内外の消費低迷を第2四半期まで織り込んで策定しておりますので、現時点では変更いたしません。しかしながら、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大がより長期化、深刻化した場合、当社グループの業績に更なる影響を与える可能性があり、今後の業績推移等によって、業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,520	14,989
受取手形及び売掛金	9,280	9,615
商品及び製品	22,634	18,947
仕掛品	1,342	1,265
原材料及び貯蔵品	4,947	4,572
その他	3,437	3,648
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	57,156	53,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,418	39,976
減価償却累計額	△25,170	△24,905
建物及び構築物(純額)	15,248	15,070
機械装置及び運搬具	85,801	85,762
減価償却累計額	△66,973	△67,638
機械装置及び運搬具(純額)	18,827	18,123
工具、器具及び備品	2,711	2,711
減価償却累計額	△2,189	△2,207
工具、器具及び備品(純額)	521	503
土地	18,148	18,148
リース資産	915	1,468
減価償却累計額	△587	△668
リース資産(純額)	327	800
建設仮勘定	788	1,051
有形固定資産合計	53,862	53,698
無形固定資産		
のれん	4,639	4,428
その他	3,017	2,980
無形固定資産合計	7,657	7,409
投資その他の資産		
投資有価証券	11,413	10,899
関係会社出資金	2,191	2,362
長期貸付金	20	22
退職給付に係る資産	210	210
繰延税金資産	1,881	2,119
その他	7,365	7,314
貸倒引当金	△53	△53
投資その他の資産合計	23,028	22,875
固定資産合計	84,548	83,983
資産合計	141,705	137,016

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,044	6,972
短期借入金	6,103	4,335
1年内返済予定の長期借入金	2,120	2,070
リース債務	99	320
未払費用	4,035	3,272
未払法人税等	2,424	863
役員賞与引当金	36	11
資産除去債務	28	28
その他	3,618	3,675
流動負債合計	26,510	21,550
固定負債		
長期借入金	11,330	10,837
リース債務	253	497
繰延税金負債	471	428
役員退職慰労引当金	223	104
退職給付に係る負債	2,893	2,817
資産除去債務	282	282
その他	7,343	8,686
固定負債合計	22,799	23,654
負債合計	49,309	45,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,291	1,291
利益剰余金	79,469	79,231
自己株式	△5,215	△5,215
株主資本合計	82,628	82,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	483	548
繰延ヘッジ損益	△197	△133
為替換算調整勘定	△63	△448
退職給付に係る調整累計額	△123	△122
その他の包括利益累計額合計	99	△156
非支配株主持分	9,668	9,577
純資産合計	92,395	91,811
負債純資産合計	141,705	137,016

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	28,795	26,528
売上原価	22,114	20,492
売上総利益	6,680	6,035
販売費及び一般管理費		
配送費	1,269	1,201
給料及び賞与	1,072	1,086
役員賞与引当金繰入額	10	10
退職給付費用	40	52
その他	2,889	2,597
販売費及び一般管理費合計	5,282	4,947
営業利益	1,398	1,088
営業外収益		
受取利息	3	0
受取配当金	61	42
受取ロイヤリティー	668	165
雑収入	56	34
営業外収益合計	789	242
営業外費用		
支払利息	23	23
固定資産除却損	9	2
設備撤去費	63	9
持分法による投資損失	87	288
雑損失	58	16
営業外費用合計	243	339
経常利益	1,945	991
特別利益		
固定資産処分益	—	18
投資有価証券売却益	68	—
補助金収入	33	—
受取保険金	238	—
特別利益合計	341	18
特別損失		
固定資産除却損	—	49
特別損失合計	—	49
税金等調整前四半期純利益	2,286	960
法人税、住民税及び事業税	1,067	741
法人税等調整額	△283	△276
法人税等合計	783	465
四半期純利益	1,503	495
非支配株主に帰属する四半期純利益	226	90
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,276	405

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,503	495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△94	64
繰延ヘッジ損益	65	△176
為替換算調整勘定	△0	△58
退職給付に係る調整額	△11	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	43	△150
その他の包括利益合計	1	△323
四半期包括利益	1,504	172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,261	149
非支配株主に係る四半期包括利益	243	22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

当社グループのIFRS適用連結子会社は、IFRS第16号「リース」(2016年1月13日。以下「IFRS第16号」という。)を、当第1四半期連結会計期間より適用しております。

IFRS第16号の適用により、借手のリースは、原則としてすべてのリースについて資産および負債を認識しております。IFRS第16号の適用にあたっては、その経過的な取扱いに従って、当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,168	5,132	494	28,795	—	28,795
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	41	16	68	△68	—
計	23,178	5,173	511	28,863	△68	28,795
セグメント利益	992	165	240	1,398	—	1,398

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	フード サイエンス 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,105	4,926	496	26,528	—	26,528
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	31	18	61	△61	—
計	21,117	4,958	514	26,590	△61	26,528
セグメント利益	575	281	231	1,088	—	1,088

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。